

2023年10月31日

川崎重工業株式会社向け融資「ポジティブ・インパクトファイナンス」について
～社会課題の解決に向けた取組みを後押し～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、川崎重工業株式会社を借入人とする「ポジティブ・インパクトファイナンス」（以下「PIF」）の契約を締結しましたので、お知らせします。

PIFは、国連環境計画・金融イニシアティブが提唱したポジティブ・インパクト金融原則^(注1)に即したファイナンス手法で、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの増大とネガティブなインパクトの縮小に向けた企業活動を支援するとともに、SDGs達成への貢献を評価する指標として活用し、情報開示することが特徴です。

本融資は、三井住友信託銀行株式会社によるインパクト評価フレームワークに基づき、事前に設定したKPI^(注2)に関する社会的インパクトを定量的に評価し、ポジティブなインパクトを創出する取組みを支援するものです。当該評価のポジティブ・インパクト金融原則への適合性等^(注3)については、株式会社日本格付研究所より第三者意見^(注4)を取得しています。

当社は「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、お客さまのESGに対する取組みを後押しし、グローバルな環境・社会課題の解決と国内地域経済活性化等の地域貢献により、社会的価値を創出することを推進しています。引き続き、お客さまとともに持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【案件の概要】

借入人	川崎重工業株式会社
契約締結日	2023年10月31日
KPI	【別紙】参照
対応するSDGs目標	

(注1) 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のポジティブ・インパクト・ワーキンググループが2017年に発表したSDGs達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の3側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行なうための原則

(注2) Key Performance Indicator（重要業績評価指標）

(注3) 国連環境計画・金融イニシアティブが策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」および「資金用途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」への適合性

(注4) 株式会社日本格付研究所（JCR）による評価レポート

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/sustainability/topic/>

【ご照会先】

広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

【別紙】 K P I (Key Performance Indicator)

インパクト	K P I	目標	対応するSDGs目標
リモートによる新しい価値の創造	リモートプラットフォームのアクティブユーザー数	2030年までに国内約400万人の製造業・サービス業等の働き手不足を5%解消	 
	手術支援ロボットによる手術件数	2030年までに国内約200万人の医療・福祉関係者の不足を5%解消	 
人・モノの移動を変革	<ul style="list-style-type: none"> 無人VTOL機のユーザー数、総輸送量 配送ロボットのユーザー数、総輸送量 	2030年までに物流における人手不足を20%解消	  
安定したクリーンエネルギーへの挑戦	KHIソリューションによる水素導入量	2030年までにKHIソリューションによる水素導入量22.5万t/年	   
	KHIソリューションの水素エネルギーによるCO ₂ 削減量	2030年までにKHIソリューションの水素エネルギーによるCO ₂ 削減量160万t (理論値)	
	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 (Scope 1・2、グループ全体(連結)・国内グループ会社) CO₂排出量 (Scope 3カテゴリー1) 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年: カーボンニュートラル (国内グループ会社、Scope 1・2) 2040年: CO₂排出量80%削減 (Scope 3カテゴリー1、2021年比) 2050年: カーボンニュートラル (グループ全体(連結)、Scope 1~3) 	
Waste FREE & Harm FREE	直接埋め立て廃棄物 ÷ 廃棄物総発生量	直接埋め立て廃棄物 ÷ 廃棄物総発生量を1%以下	
	有害化学物質総発生量	有害化学物質の削減	

以上